

畜産部門

出品財 生活（生活改善）

かあちゃんべぶんこ会
（代表 立迫 眞由美 氏）

鹿児島県志布志市



1. 地域の概要

志布志市は鹿児島県東部、大隅半島の付け根に位置する。一年を通じて温暖な気候で、全国有数のお茶の産地であり、大根、キャベツ等の露地野菜、焼酎原料のサツマイモ等の栽培も盛んである。また、会が活動する曾於地域は黒毛和種子牛生産の日本一の産地である。

2. 受賞者の取組の経過と経営の現況

かあちゃんべぶんこ会は、黒毛和種繁殖農家の女性就農者の会である。平成16年に地区畜産共進会の「女性審査競技会」に参加し入賞したのをきっかけに地域の畜産女性が設立した。会では鹿児島県推奨の「子牛育成マニュアル」の実践と毎月の勉強会を行った結果、育成子牛の体重の増加、出荷日齢の早期化など商品価値の高い子牛生産が可能となり、女性の経営における発言力向上や自立につながっている。さらに、県内の畜産・農業の女性のネットワークを広げ、畜産・農業女性生産者の精神面での支援活動も積極的に行っている。会員数は現在9名。

3. 受賞者の特色

（1）子牛・繁殖牛の飼養管理技術向上

本会では「子牛育成マニュアル」の実践と毎月の勉強会の結果、育成子牛の体重の増加、出荷日齢の早期化など商品価値の高い子牛生産が可能となった。

（2）畜産分野における女性の地位向上

子牛販売の実績などから、飼養管理等について外部から多くの問い合わせがあり、その活動が注目されている。また、新しい技術についても取り組み、その結果を地域に波及させるなど、女性の活躍が評価されている。

（3）女性リーダーとしての活躍

会員は女性農業経営士として認定されている。また、女性リーダーとして若手女性農業者に対する精神面での支援活動も積極的に行っている。

（4）経営の健全化

会員は青色申告を行い、簿記記録方法を学び複式簿記で記帳などを行っているほか、家族経営協定を締結し、経営者として積極的に経営に参画している。これにより精神面でゆとりある経営が営まれている。

4. 普及性と今後の発展方向

「子牛育成マニュアル」の実践と学習による飼養管理技術向上から子牛販売成績が向上し、さらに、新しい技術についても取り組み、その結果を地域に普及している。また、飼養技術の向上から畜産分野における女性の地位向上や女性ネットワークの拡大にも尽力し、男女共同経営の進展から、業界全体の発展に貢献するものである。